

年 月 日作成  
年 月 日修正

学籍番号		フリガナ 学生氏名	
専攻・分野名		入学 年・月	年 月
課程	博士前期	学年	年
研究題目			
研究指導教員名			

#### ○研究計画（指導教員と相談のうえ学生が記入）

学生は研究指導教員と相談のうえ「研究計画」として概ね、次の1～4の項目について記載する：

- 1.研究計画の立案と実施準備（1年次4月～7月）：研究課題の背景、研究内容等に関する簡単な説明の記入。
- 2.研究の遂行（1年次7月～1年次3月）：研究実施や必要となる知識・技能の修得などについて記入。  
指導教員と相談しながら、計画を適宜見直す。  
研究の遂行（2年次4月～2年次10月）：研究計画に従って研究を遂行する。
- 3.修士論文の作成（2年次10月～1月）：研究指導教員の助言・指導のもと修士論文を作成する旨を記入。
- 4.修士論文の提出（2年次1月～2月）：指定された期日までに修士論文を提出し、公開の発表会で論文研究に関する発表を行う旨を記述。

（ただし上記の年次・月は春入学の場合の目安であるため、秋入学の場合は月を半年ずらす。）

1～4の項目には、各時期において、例えば次のよう知識・技能の修得を計画している旨を記しても良い。

- ・研究の内容、意義の理解
- ・専門書や論文の読解を通じた研究分野に関する専門知識の修得
- ・先行研究の整理、仮説の設定等
- ・文献読解力、文献検索方法等の修得
- ・コンピュータに関する知識の修得
- ・英文による研究報告書・論文の作成技術
- ・ディスカッション能力の向上
- ・国内外の学会等における発表・プレゼンテーション能力の向上
- ・学位論文作成において必要な文書構成、図表作成、文献引用等の事項の理解。

#### ○研究指導方法（指導教員が記入）

例えば、「本研究計画は、当該学生と綿密な検討のうえ立案されたものである。1年次においては、この研究指導計画を予め学生に明示した上で、研究指導を行い、必要に応じて、研究指導計画を適宜見直す。2年次においては、研究指導計画を明示した上で、修士論文研究が順調に進むよう学生に適宜助言を与え、研究指導を行う。」等の旨を記入する。

（研究指導教員は、研究期間内に修士論文が完成しなかった場合など、当初の研究指導計画書から大きな変更があった場合、研究指導報告書を提出する。）